

【生徒の実態】
 ○生徒会の取組もあり、挨拶への意識が高まっている。
 ○進んで貢献活動をする生徒が増えてきている。
 ○主体的に表現できる力を鍛える必要性がある。

【地域の実態】
 ○三世同居の割合が高い
 ○地域としてのつながりや連携性が高い
 ○学校教育に対する理解があり、協力的である

【学校の教育目標】
 「誠」を校訓として、人間性豊かな、たくましい生徒の育成につとめる
 ～「時を守り」「場を清め」「礼を正す」～

【保護者の願い】
 ○良好な人間関係の構築
 ○基礎的・基本的な知識及び技能の定着
 ○思考力、判断力、表現力の育成
 ○健康で安全な生活

【総合的な学習の時間の目標】
 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解するようにする。
 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

【地域の願い】
 ○自分たちの地域や産業、文化等に誇りをもつ
 ○豊かな人間性を身に付けている
 ○地域と積極的に関わり、行事等に進んで参加する

【内容】 <目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力> 【 】は、本校で設定している資質・能力

学年	第1学年（50時間）	第2学年（70時間）	第3学年（70時間）	
探究課題	地域再発見プロジェクト ・地域の自然・産業・文化等のもつ良さ・課題を見付ける。	地域体験・発信プロジェクト ・地域の産業を体験し、地域の良さを広める。 ・体験を通して、自分の生き方を考える。	地域貢献・参画プロジェクト ・地域活性化に向け、自分たちで考え、地域の人々と協働し、実行する。 ・今後の生き方について考え、行動する。	
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	・地域の自然・産業・文化等の現状と課題が分かる。 ・地域の環境の現状と自分との関わりが分かる。 ・情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	・地域の産業の特徴が分かる。 ・地域の産業と自分との関わりが分かる。 ・情報を多面的に見る、考えを具体化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	・町づくりや地域活性化の取組に関わる人々の思いや願いが分かる。 ・町づくりと自分との関わりが分かる。 ・情報を構造化する、抽象化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。
	思考力、判断力、表現力等	課題の設定	・自分たちを取り巻く社会に広く目を向けたり、活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見いだしている。 ・解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている。	【課題発見・解決力】
		情報の収集	・目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積している。 ・他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択している。	
		整理・分析	・問題状況における事実や関係を把握し、分類して多様な情報にある特徴を見付けている。 ・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析している。	
		まとめ・表現	・調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。 ・国語科や外国語科等で身に付けた技能を活用して表現している。	
振り返り	・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。 ・振り返りの観点を自己で設定して活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。			
学びに向かう力、人間性等	主体性	・自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究的な学習に取り組もうとしている。	【高い志】	
	協働性	・自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究的な学習に取り組もうとしている。	【コミュニケーション力・協調性】	
	自己理解	・探究的な学習を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。		
	他者理解	・探究的な学習を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとしている。	【コミュニケーション力・協調性】	
	社会参画	・探究的な学習を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている。	【高い志】	

【学習活動】
 ・地域の実態、生徒の実態を踏まえ、探究課題を設定する。
 ・地域の人、もの、ことを生かした学習活動を行う。
 ・学習成果を表現する場として文化祭等を活用する。
 ・年間1テーマでの取組を基本とする。

【指導方法】
 ・生徒の課題意識を連続、発展させる支援と工夫を行う。
 ・個に応じた指導の工夫を行う。
 ・体験活動を重視する。
 ・教科等との関連を重視した指導を行う。
 ・言語により整理分析したり、まとめ表現したりする学習を重視する。
 ・協働的な学習を充実させるため、思考ツールを積極的に活用する。

【指導体制】
 ・全校指導体制を組織する。
 ・企画委員会における校内の連絡調整と指導体制を確立する。
 ・ワークショップ研修を重視する。
 ・メディアセンターとしての余裕教室及び学校図書館の整備・充実を図る。
 ・地域の教育資源をデータ化するとともに、日常的な関わりを行う。

【学習評価】
 ・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。
 ・学習状況を把握するための評価規準を設定する。
 ・個人内評価を重視する。
 ・指導と評価の一体化を充実する。
 ・授業分析による学習指導の評価を重視する。
 ・期末、学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画に生かす。

【各教科等との関連】

各教科等	道徳教育	特別活動
・学ぶ意欲と傾聴する力の向上を図る。 ・探究的な学びの素地を養う。 ・協働的な学習場面を設定する。 ・わかる授業、活気のある授業を展開する。 ・知識及び技能の確実な習得とそれらを活用できる能力を育成する。	・自主的に考え、責任をもって行動をする態度を養い、主体性・自律性を育成する。 ・誰に対しても思いやりの心をもち、感謝できる心を育成するとともに、自他を認め、尊ぶことで自己有用感を高める。 ・集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して、協力する態度を育むとともに、人間としてもつべき規範意識を育成する。	・生徒の自立的、実践的な活動を助長し、自治能力の伸長を図るために、諸活動において一人一人の生徒が自己の個性や能力を発揮できるようにする。 ・他者と一緒に、互いに助け合ったり、譲り合ったりしながら、同じ目標に向け、やり遂げようとして、新たな解決策を生み出そうとする意欲や態度を育てる。 ・集団活動を通して、創造性や自主性を育て、心身の健康な発達を図る。

【小学校や近隣の中学校、進学校との連携】

【近隣の小学校との連携】
 ・小学校で育成された資質・能力の系統性を確認する。
 ・小学校での学習内容を確認する。
 ・ポートフォリオなどの学習の記録を行う。
【近隣の中学校との連携】
 ・総合的な学習の時間の目標、内容、年間指導計画等を交流する。
 ・指導方法や学習評価の在り方の合同研修を行う。
【進学校との連携】
 ・中学校での総合的な学習の時間の目標、内容、年間計画等及び育成を目指す資質・能力の提供 等